

序 章

1 鎌倉市環境基本計画の体系と「かまくら環境白書」

鎌倉市環境基本計画は、環境基本条例の3つの理念（注1）を実現することを目指して平成17年度までの計画として平成8年2月に策定されました。この計画を受けて、その後の環境問題に関する状況の変化や新たな課題に対応するため、平成18年3月にその一部を改訂し、平成18年度（2006年度）から平成27年度（2015年度）までを計画期間とする第2期環境基本計画を策定しました。4つの基本方針（注2）を掲げ、鎌倉市の環境保全を市民、事業者、滞在者そして行政が協力・連携して、総合的、計画的に推進していくため、次の表のとおり7つの目標の柱と15の目標の項目にまとめました。

7つの目標の柱	15の目標の項目
1 地球環境の保全	地球環境
2 人の健康の保護と生活環境の保全	大気 水・土 化学物質 音
3 歴史的文化的環境の確保	歴史的遺産
4 良好な都市環境の創造	緑・水辺 景観 美化
5 健全な生態系の保全、人と自然とのふれあいの確保	生態系の保全 自然とのふれあい
6 循環型社会の構築	廃棄物の発生抑制・再使用・再生利用 水の循環利用 エネルギーの有効利用
7 環境教育の推進	環境教育

「かまくら環境白書」平成20年度版では、計画の15の目標の項目ごとに平成19年度における状況や取組をまとめるとともに、その評価を行いました。

（注1）鎌倉市環境基本条例における3つの理念

- 1 環境の保全は、市民が健康で安全かつ快適な生活を営む上で必要とする良好な環境を確保し、これを将来の世代へ継承していくことを目的として行わなければならない。
- 2 環境の保全は、人と自然とが共生し、環境への負荷が少なく持続的に発展することができる社会を構築することを目的として、すべての者の積極的な取組によって行わなければならない。
- 3 地球環境保全は、人類共通の課題であるとともに、市民の健康で安全かつ快適な生活を

将来にわたって確保する上で極めて重要であることから、すべての事業活動及び日常活動において推進されなければならない。

(注2) 4つの基本方針

- 1 環境の恵みを将来世代に継承します。
- 2 環境への負荷の少ない持続的に発展できる社会を築きます。
- 3 自然環境や歴史的遺産など鎌倉の個性を尊重し、共生していきます。
- 4 鎌倉から地球環境保全をすすめます。

2 平成 19 年度における「環境」をめぐる動き

気象状況における2007年の世界の年平均気温は、1891年以降で6番目に高い値となり、長期的には、100年当たり0.67℃の割合で上昇しています。2007年は、北半球の中高緯度の陸域を中心に高温となり、陸域における地表付近の気温は、1880年以来最も高くなりました。

また、2007年の日本の年平均気温は、1898年以降で4番目に高い値となり、長期的には、100年当たり1.10℃の割合で上昇しています。特に1990年代初め以降、高温となる年が多くなっています。

地球温暖化の原因としては、国連の気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の第4次評価報告書(2007年11月)において、人為起源の温暖化ガスの排出であるとほぼ断定されました。

国際的な動向は、2007年12月にバリ島で開催された気候変動枠組条約第13回締約国会議(COP13)では、2013年以降の温暖化対策について協議が行われ、2008年から京都議定書の第一約束期間がスタートするにあたり、グローバル的に温室効果ガスの削減と地球環境保全に向けた動きが活発化しています。

しかし、人口・エネルギー・食料の問題や先進国と途上国間の温室効果ガス削減の取組に関するビジョンの食い違いなどが複雑に絡み合い国家間で議論すべき課題は山積しています。

日本の動向は、京都議定書で約束した6%の排出削減を実現するため「京都メカニズム」の排出量取引に基づきハンガリーから温室効果ガスの排出枠を購入する覚書に調印しました。また、国内における排出量取引制度の導入についても議論されています。

その他、クールビズやライトダウンキャンペーンの推進、太陽光エネルギーを始めとする自然エネルギーを利用した発電の普及の取組とともに、さらなる研究開発を進めています。

また、企業における省エネルギーの推進は目覚ましく新技術の開発や導入などの取組が幅広く行われ今後その効果が期待されます。

鎌倉市の動向では、2008年3月に「鎌倉市地球温暖化対策地域推進計画」を策定し、計画を効果的に推進するために行動プロジェクトを設け、市民、事業者、滞在者、行政などの各主体が連携して温室効果ガス排出量の削減に向けた取組を推進しています。

また、鎌倉市域の全般的な環境保全についても第2期鎌倉市環境基本計画の各施策に基づき事業を展開し、課題については更なる検討を行い、第2期鎌倉市環境基本計画の目標達成に向けて努めています。